

デジタル印刷入稿／データ作成の手引き

※データはAdobe(アドビ社)のIllustratorで作成の上、基本的には完全データ支給をお願いいたします。

●完全データ概要●

- ① 入稿用テンプレートを必ず使用してaiデータ(イラストレーター)でご入稿ください。
- ② 文字は必ずすべてアウトライン化して入稿してください。アウトライン化せずに入稿されると文字化けの原因になります。
- ③ イラストレーターの機能の固定化(アピアランスの分割等)をしてください。データの破損・トラブルの原因になります。
- ④ 画像データはリンクで配置し、レイアウトデータと一緒にフォルダに入れてください。(画像埋め込みでも可)
- ⑤ 色指定がある場合はPANTONEカラー、現物色見本(郵送)での指定をお願いいたします。



aiデータ

カラーモード

CMYK (※RGBは不可)

デザイン
サイズ

展開サイズが220×125mmの場合、
左右に2mmずつ余分にデザインを作成していただき(裁ち落とし)、
合計 **224×125mm** のデータを作成してください。(※上下の余分は不要です。)

※展開サイズが220×125mm以外の場合も、左右に2mmずつ余分にデータを作成してください。
※上下2mmは各デザインや他との兼ね合いにより柄や色が2mm削除となる場合がございます。



画像を使用
する場合

カラーモード

CMYK、グレースケール (※RGBは不可)

データ形式

eps・psd・jpeg・tiff

解像度

350dpi 推奨 (※それ以上・以下の場合はモアレ・粗いなど画質に影響が出る恐れがあります。)

イラレに配置

リンク・埋め込み (どちらでも可)

入稿データ
作成時の
注意点

- デザインオブジェクト、文字の線幅は0.2ポイント以上の太さにしてください。
(それ以下ですとカスレ、色ブレの原因になります。)
- スウォッチの特色はプロセスカラー(グローバル)に変更してください。
(スウォッチの特色をWクリックし、カラータイプを"特色"から"プロセスカラー"へ変更してください。)
- 効果はアピアランス分割してください。(ワープやドロップシャドウ等)
(該当オブジェクトを選択し、オブジェクト>アピアランス分割をクリック)
- パターンは分割・拡張してください。(スウォッチのパターンのことです。)
(該当オブジェクトを選択し、オブジェクト>分割・拡張...をクリック)
- 文字を全てアウトライン化してください。

※上記の処理がされていない場合や、誤ってオーバープリント設定されていた場合など、正しく処理・設定されていないと思われ結果となってしまう場合がございますので、データ作成時にご注意ください。

データ
入稿時の
注意点

- イラストレーターのバージョンはIllustratorCC2020まで対応可能となっております。
バージョンが2022以上の場合、バージョンを下げたデータの再送付をお願いする場合があります。
- データは必ず圧縮してください。圧縮形式はzip形式にてお願いします。
- 不必要なデータはトラブルの原因となりますので、一緒に入れないようお願いします。
- 画像を"リンク"で配置した場合、画像データも一緒に必ず入稿をお願いします。
- 確認用のPDF(またはJPEG)も必ず入稿をお願いします。
- 色指定はPANTONEカラーでの指定をお願いします。
または色見本となる現物をお送りください。
(※できる限り指定色に合わせますが、プロセスカラー(CMYK)+白での印刷となりますので、表現できる色に
限界がありますことをご承知おきください。)
- ダミーデータ(印刷不要データ)がIllustrator上にある場合、ご説明いただかない限りはそのまま印刷されますので、"印刷不要"などの希望がある場合は明確にご指示をお願いします。
- 白版のヌキ指定(アルミ地を活かす)がある場合はわかりやすくご指示をお願いします。
[指示例]・データ上に指示をする(白版を特色設定(プロセスカラー(グローバル)へ変換したもの)+説明書き)
・カンパに指示を記載し、スキャンした書類をPDFで添付する
(どのような方法でも結構ですので、明確にご指示をお願いします。)
- 再入稿・改版の際には必ず変更内容のご連絡をお願いします。
データのみですと確認に時間を要します。「色は前回通り、裏面の文字修正」など概ねの変更内容で構いません。